

Atmos Master の作成方法

概要

Dolby Atmos Master を作成するには、Dolby社のレンダラーが必要です。 レンダラーはApple社Macのアプリケーションとして動作します。 この文書情報は、Mac上で動作するDolby社のレンダラーにCoreAudio経由でAES67の信号を送り、 レンダラーにLTCチェイス状態で録音する方法が書かれています。

手順

Pyramixのプロジェクトを作成します。 1.

Pyramixのプロジェクトを通常通り作成して行きます。 1.1.





1.2. Mixer Wizard では、出力のMix Busに作成したいAtmosの形式を入力します。

Configuration Wizard						;
Stem 2 Stem 3	Create som	ne Busses:				
	1	Mixing Bus	~		\sim	
	0	Mixing Bus	~	Dolby 7.1 Dolby 9.1 Dolby Atmos 5.1.2	^	
	0	Mixing Bus	~	Dolby Atmos 5.1.4 Dolby Atmos 7.1.2 Dolby Atmos 7.1.4		
	0	Mixing Bus	~	Dolby Atmos 7.1.6 Dolby Atmos 9.1.2 Dolby Atmos 9.1.4		
On On -5.0 (-11.0 (0	Mixing Bus	~	Dolby Atmos 9.1.6 10.2 TMH		
	0	Mixing Bus	~	12.2 TMH Auro 8.0		
				Auro 9.1 Auro 10.1		
				Auro 7.4 / ITU-J (4+7+0) Auro 11.1		
				KBS 10.2 / ITU-F (3+7+0)		
			く戻る	Cube	2	

- Input の数は、必要なトラック数+1の数値を入力します。これはLTCを送るための 1.3. Stripです。
- ※ この例では12のモノトラックのオーディオがあるため、12+1=13本の Mono Strip を作成しています。

Configuration Wizard		×
4.5 -6-1 12- 6- 0- -6- -12- -72- -24- -36- -36- -48- -60- -60- 2 3	Create some Strips: 13 Mono 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	> > > > > >
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

- 2. ミキサー出力をAES67に出力します。
 - Mixerのバス出力を1から順番に割り当てます。9以降のアサインは、"1-8"部分をク 2.1. リックすると "9-12" が表示されます。

Dolby Atm 1–8		Dolby Atm 9–12	
© L: 1		TI: 9	
© C: 3		Trl: 11	
© LFE: 4		😨 Trr: 12	
Sr: 6			
💿 Rs: 8			
	Ð	Θ	(H)



レンダラーの入出力を Merging Virtual Audio Device に設定します。 3.

PyramixのLTCをAES67に送ります。 4.

4.1. 最後のトラックを消します。これで最後のトラックへの信号が直接MixerのStripに 入ります。

※トラックを消すには最後のトラックのトラックボックス上で右クリックして、"Delete Track"を選択します。



一番右側のStripの入力を "16" にします(Horus/Hapiのアナログ入力にLTC出力を接 4.2. 続してください)。



4.3. 一番右側のStripの Direct Out をONにし、AES67のch16に送ります。

※Direct Out をONにするには、Mixer の Route のページを開き、Direct Out を開き、該当Stripをクリックします (下図赤枠部分)。さらにAES67出力のch16との交点をクリックしてオレ ンジにします。







- レンダラーのLTC入力をオーディオ入力に設定します。 5.
- 6. Pyramixで、レンダラーに録音させたい範囲を決めます。
 - 6.1. Pyramixのプロジェクト上の録音させたい部分の始まりと終わりに IN と OUT を付 けます。
- Pyramixからレンダラーにオブジェクト情報を送ります。 7.
 - 7.1. Macの System Preferences で Merging RAVENNA/AES67 を開きます。



MacでAES67で交信しているMacのIPアドレス(下図赤枠部分の数値:通常は 7.2. 169.254.xxx.xxxとなっています)を調べます。

※Auto(DHCP)で交信するため、Macの起動の度にIPが変わる可能性があります。電源を入れた時や再起動をし た時は必ずチェックしてください。

••			Mergin	ig RAVENN#	A/AES67 Setting	IS	Q Search	
•	Interface:						🗹 Auto	
1	Latency:	10 ms (480)	\diamond	🗹 Safe Mo	ode			
	Frequency:	44100 Hz		🗸 Follow (DoP detection			
Numb	per of Channel	s						
	Inputs:	32	\$					
	Outputs:	32	\$					
Statu	s							
•	Driver: F	Running						
•	PTP: I	₋ocked						
Online	e RAVENNA De	vices:						
J								
Rica	rdoMAC A	nubis_650248						
Adva	anced Settin	gs La	unch Al	NEMAN				2.1.41964



7.3. Mixer 上を右クリックし、Settings > Atmos Connect を選択します。



Atmos Connect が開いたら、下図枠内に先程調べたMacのアドレスを IP に入力し 7.4. ます。

Atmos Renderer					
IP Address:	I	Connect	Status:	No connection	
Log					

- 7.5. "Connect"をクリックします。Log内にメッセージが表示され、"Connect"の右隣に ある "Status" に "Connected" と表示されたら完了です。
- レンダラーをLTCチェイスにします。 8.
- 9. レンダラーをAuto Recにします。
- 10. Pyramixを再生します。
- 11. Pyramixを停止させて、レンダラーの録音を終了します。

